

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成25年度）

主な事例	具体的な内容
北海道大学創基150年に向けた近未来戦略（北大近未来戦略150）の策定	学外委員から，世界大学ランキングにおいてトップ100位以内を目指し，具体的なアクションプランを作成すべきとの意見があったことなどを踏まえ，本学が創基150年を迎える平成38年度を見据えた中長期的な目標と計画骨子を「北海道大学創基150年に向けた近未来戦略（北大近未来戦略150）」として取りまとめた。 平成25年度における具体的取組としては，本学の強みや特色を活かした取組を積極的に行うべきであるという学外委員の意見を踏まえ，食・健康・医療領域の融合・連携研究を行うフード&メディカルイノベーション国際拠点の構築に向けた体制整備等や，海外から誘致した世界トップレベルの教育研究ユニットと本学の研究者が連携して本学の強みや特色を活かした先端的な教育研究を実施するための組織「国際連携研究教育局（G I－C o R E）」の平成26年4月設置に向けた準備を行っている。
産学官連携による研究推進において外部からの意見等を積極的に取り入れる体制の構築	学外委員から，産学官連携によるプロジェクト等を実施する場合には，関係機関との連絡を密にし十分な意思疎通を図りながら進めるべきであるとの意見があったことなどを踏まえ，既存の協議会・懇談会等の見直し・強化を行った。 また，本学の研究力強化及び教育研究活動の国際的展開のため平成26年2月に新たに設置した「次世代大学力強化推進会議」においては，委員総数の半分以上を産業界等からの学外委員とすることとしているほか，前述のフード&メディカルイノベーション国際拠点における研究開発事業の推進・支援体制として平成26年4月に設置した「フード&メディカルイノベーション推進本部」の運営委員会委員についても過半数を学外委員とするなど，外部からの意見等を積極的に取り入れる体制を構築した。
国際食資源学院構想に向けた取組	学外委員から，他大学にない特色である「農業」に関する取組について積極的かつ継続的に打ち出すべきとの意見があったことを踏まえ，食資源分野において国際的に活躍できる人材を育成するための教育組織の再編成を内容とする「国際食資源学院構想」を取りまとめた。なお，本構想については，平成26年度の特別経費に調査費を計上し，構想の実現に向けた準備を進めている。